



ご存知ですか。 公設試。



道内公設試験研究機関
活用ガイドブック
経済産業省 北海道経済産業局

(独)産業技術総合研究所 北海道センター

〒062-8517

札幌市豊平区月寒東2-17-2-1

TEL 011-857-8406

FAX 011-857-8901

E-mail sgk.contact.hokkaido@m.aist.go.jp



研究拠点と連携拠点の
二つの顔を持っています。
一次産業とも深い関わりが。

●機関のプロフィール

当センターは、(独)産業技術総合研究所(産総研)のバイオ技術研究開発拠点として「ゲノムファクトリー研究部門」では、遺伝子組換え植物や微生物を利用してタンパク質などの有用物質を大量生産するバイオプロセスの開発研究を進めており、今後産業利用のための基盤技術の確立を目指しています。また、「創薬シーズ探索研究ラボ」では、創薬の素となる機能性低分子化合物ライブラリーの作成を通じて、新規な疾患関連バイオマーカー及び新規低分子医薬品候補化合物の獲得を目指しているほか、「メタンハイドレート研究ラボ」では、将来の資源として期待されるメタンハイドレートなどの天然ガスを活用する技術開発を行っています。

一方、研究だけでなく、当センターの人材・施設を活用したバイオベンチャー支援事業の推進や、専門学校と提携したバイオ人材の育成事業を行っています。

さらに、「札幌大通りサイト」においては、道内の公設試や大学、経済団体や行政機関とも連携して開設した「リサーチ&ビジネスパーク札幌大通サテライト」を活用して、地域のニーズやシーズの把握、産総研の技術シーズの発信など情報提供や技術相談・支援を行っています。

●企業支援の特徴

当センターは、研究拠点と連携拠点の二つの顔を持っています。研究拠点としては、ゲノム、創薬、メタンハイドレードをテーマとし、遺伝子組換え植物、DNAチップなどの研究のほか、不凍タンパク質の雑魚からの抽出など、道内の基幹産業である一次産業とも深く関わっています。また、研究だけではなく、技術移転や産学官連携の強化によるバイオベンチャー支援も行っています。

連携拠点としては特に、札幌大通サテライトでワンストップサービスによる技術相談を行っております。

●設備・機器の事例紹介

ほっかいどうOSL

(北海道産学官連携研究棟)
産総研内外の研究者が共同して
研究開発をする際に利用可能です。



実験動物飼育施設

特定病原体フリー(SPF)のマウス、ラットの飼育が可能で、併設の実験室も利用可能です。



クリーンルーム

薬事法におけるGMPに対応可能なクラス10,000~100,000の清浄度の維持が可能です。



札幌大通りサイト

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目8番地 昭利ビル1階

TEL 011-219-3359

FAX 011-219-3351

E-mail s-odori@m.aist.go.jp



インターネットもご覧ください

URL:<http://unit.aist.go.jp/hokkaido/index.html>

●技術相談や共同研究の事例

家畜用サプリメント

成果
 (株)ロムは、産総研や酪農学園大学の協力を得て、有用微生物を多く含む家畜の腸内細菌のバランスを整える飼料添加微生物資材「S204B」を開発しました。

経緯
 2004年に産総研認定ベンチャーとして北海道センター内にラボを開設。ゲノムファクトリー研究部門と産学官連携センターの支援を受けて2004年に経済産業省の創造技術研究開発事業に採択。2005年には新連携認定を受け、2006年に発売。



灯油/廃食油ハイブリット 小型バーナー

成果
 北海道オリンピア(株)は、廃油の直接燃焼が可能な灯油とのハイブリットバーナーを開発しました。

経緯
 2006年、資金・技術面で初回相談。ヒット商品となると判断した産総研はアドバイザーを選任し、同社と検討を重ねた。(財)北海道中小企業総合支援センターの研究開発補助事業に採択。北海道立工業試験場の技術協力を得て改良を行い、2007年に製品化。大通サテライトでプレス発表。



乾燥キノコからセラミドを抽出

成果
 (株)スリービーは、たもぎ茸から純度100%に近いグルコセラミドを抽出・精製する技術を開発しました。抗アトピー効果が高く、優れた美容食品素材・化粧品素材。

経緯
 2006年、パイロット規模装置導入の相談でK社を紹介。以後、数度の相談を重ねる過程で北海道立食品加工研究センターの協力を得、(財)北海道中小企業総合支援センターの平成18年度市場開拓促進補助事業に採択。2007年に製品化。



●利用者の声

◆特許実施権の取得後、共同研究実施。シーズと専門的指導に満足。

※企業アンケート調査より。

企業のみなさまへ

産総研の全国ネットワークと北海道の産業界・学界を繋ぐハブとして、道内の公設研究所や大学と連携して皆様のお役に立ちたいと考えています。技術相談はもちろん、受託研究、共同研究を行っているほか、ベンチャー企業を支援するインキュベーション施設も活用いただけます。



太田 産学官連携
コーディネーター



千葉 産学官連携
コーディネーター

連絡先 札幌大通りサイト
 E-mail 太田: ohta-e@aist.go.jp
 千葉: shigeo.chiba@aist.go.jp
011-219-3359

アクセスマップ



地下鉄「福住駅」より車で約5分
 徒歩で約20分

札幌大通りサイト



地下鉄「大通駅」1番出口直結

	バイオテクノロジー
	IT
	機械・材料加工
	環境電子
	材料開発
	木工・工芸
	食品加工
	環境エネルギー
	デザイン
	経営分析・ビジネス
	建設
	農林水産